



ふれあい

令和8年9月吉日
京都市立第三錦林小学校
校長 石田 淳

前期学校評価（7月）の結果より

平素は本校教育活動にご理解・ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、保護者の皆様にはお忙しい中、夏休み前の学校評価にご協力いただきありがとうございました。また同時期、子どもたちには日頃の学習や学校生活の様子について、教職員には日常の授業や家庭との連携、学校運営への参画等について、実現度をはかる自己評価を実施いたしました。

私たちは保護者の皆様からいただきました学校評価と児童の自己評価を通して、自分たちの日頃の取組を見直すきっかけにするとともに、保護者・地域の皆様と一緒に、よりよい教育のあり方を探っていきたいと考えています。今回は、7月の結果をお伝えするとともに、結果から見えてくる課題について分析し、今後の取組に生かしていきたいと思っています。

質問項目	子ども	保護者	教職員
学習の目標達成（学んだことの定着）	52% 45% 2%	28% 67% 5%	37% 63% 0%
基礎的・基本的な学力（読み書き・計算）	59% 34% 6%	29% 61% 9%	32% 68% 0%
家庭学習の習慣	42% 35% 15%	23% 56% 18%	36% 53% 11%
授業中の集中	54% 37% 7%	22% 57% 21%	37% 63% 0%
生活習慣（早寝早起き・朝食）	45% 35% 16%	30% 56% 14%	32% 63% 5%
清掃・整理整頓	45% 36% 16%	45% 51% 4%	42% 47% 11%
運動習慣	59% 26% 12%	41% 36% 23%	42% 42% 16%
あいさつ	65% 29% 4%	19% 58% 22%	53% 42% 5%
学校生活の楽しさ	59% 26% 9%	46% 46% 8%	47% 53% 0%
友人関係	74% 24% 1%	57% 41% 2%	42% 58% 0%
困ったときの相談行動	41% 32% 17%	31% 63% 6%	47% 53% 0%
学校の取組理解	57% 25% 15%	22% 72% 6%	22% 61% 17%
ルール遵守	48% 39% 11%	30% 63% 6%	48% 47% 5%
自己肯定感（自分の良いところ）	36% 30% 19%	29% 61% 10%	68% 32% 0%
読書習慣	62% 21% 12%	25% 25% 41%	42% 47% 11%



…よくできている



…大体できている



…あまりできていない



…できていない

児童アンケートについて、令和7年度前期と比較した結果

1. 成果（両年度共通・または向上）

項目	傾向と変化
読み書き・計算する力 毎日の学習のめあて 授業への集中	いずれも肯定的評価（「よくできている」「大体できている」）をした児童が90%以上。学習内容の理解や学習への見通しをもって取り組めている様子がうかがえます。
家で進んで学習する習慣がついている	74.2%→77.1% 依然課題ではありますが、着実に改善しています。家庭との連携の成果が表れていると考えています。
友だちを大切にし、仲良くしている	96.6%→98.4% 学校生活の中で互いを認め合いながら過ごしている様子がうかがえます。
学校に来るのが楽しい	87.4%→84.9% 高い水準を維持しており、安心して学び、生活できる学校づくりが進んでいると考えています。
進んで読書をしている	83.2%→83.3%（「よくできている」は50.3%→62.4%と大きく増加）保護者アンケートでは課題となっていました。児童自身の意識は高まっています。

2. 課題（特に改善が必要な項目）

項目	傾向と変化
困ったことは先生や家族に相談している	84.9%→73.4% 今回最も大きく低下した項目です。高学年を中心に、「自分で抱え込む」「友達だけで解決しようとする」傾向が考えられます。
自分のよいところが言える	70.8%→65.6% 全項目の中でも低い水準です。自分の成長やよさを実感できる機会を増やす必要があります。
早寝・早起き・朝ごはん	84.4%→80.0% 生活リズムは学力や心身の健康と密接にかかわるため、大変重要です。

3. 今後の改善に向けて

- 相談しやすい環境づくり：「困ったときは相談してよい」という安心感の醸成に取り組めます。
- 自己肯定感の育成：達成感を味わえる場面づくり、互いのよさを認め合う学級づくりを進めます。

～自由記述から～

☆小さな悩みでも遠慮せずに話してと言ってくさるので、相談した結果、子どもの学校行き渋りを早めに解決できたこともあります。相談できてなかったら今楽しく学校に行けてなかったかと思っています。今は子どもも学校が楽しいと言っています。

★学校が子どもたちにとって安心できる居場所であることは、何よりも大切なことだと考えています。今後も何かありましたら遠慮なくご連絡ください。学校とご家庭とが手を携えて、子どもたちの健やかな成長を守っていきましょう。

保護者アンケートについて、令和7年度前期と比較した結果

1. 成果（両年度共通または向上したもの）

項目	傾向と変化	
清掃・整理整頓	97.3%→95.7%	9割を超える肯定的評価（「よくできている」「大体できている」）が見られました。
学校に行くのが楽しい	88.6%→92.1%	
友だちを大切にしている	98.0%→97.9%	
学んだことの定着	89.9%→95.0%	前年度と比較して評価が向上しています。子どもたちの学びや学校と家庭との連携について、一定の成果が見られました。
基礎的・基本的な学力	86.6%→90.0%	
学校の取組についての理解	86.6%→92.9%	

自由記述からも、「学校が楽しい」「安心して通わせることができる」「先生に相談しやすい」「子どもの様子を丁寧に見てもらっている」など、温かい励ましの言葉を多くいただきました。職員一同、大変励みになっています。

2. 課題（改善が必要な項目）

項目	傾向と変化
読書に親しんでいる	55.7%→50.0% 両年度とも最も低い評価です。一方で児童は肯定的な評価をしており、家庭との乖離が見られます。
運動習慣	77.8%→77.1% ほぼ横ばいですが、他項目に比べると低めです。
自分から進んで挨拶をすること	75.8%→76.4% 改善はわずかで、他項目に比べると低いです。

自由記述では、感染症流行時の情報発信、保護者との連絡方法の充実、金銭トラブル等への生活指導、情報モラルやメディアとの付き合い方に関する学習などについてご意見をいただきました。

4. 今後の改善に向けて

- 家庭学習・読書習慣の充実：家庭学習の内容や量の工夫、読書活動の推進に取り組めます。
- 挨拶・生活習慣の向上：日常的な声かけや児童会活動を通した取組を進めていきます。
- 心と体の健康づくり：運動機会の充実、安全で安心できる環境づくりを引き続き推進します。
- 情報発信と連携の充実：ホームページなどを活用し、積極的な発信に努めてまいります。

5. まとめ

今回のアンケート結果から、子どもたちが安心して学校生活を送り、友達や教職員との関係を大切にしながら成長していることがうかがえました。一方で、家庭学習や読書習慣など、学校と家庭が協力しながら取り組むべき課題も明らかになりました。

今後も保護者の皆様と連携しながら、子どもたち一人一人がより豊かに成長できる学校づくりに努めてまいります。引き続きご理解とご協力をお願いいたします。